

令和4年3月3日

卒業式のことば

- 暖かな春の日差しを感じるこの佳き日に、神奈川県立相模田名高等学校第33回卒業証書授与式をこのように挙行できますことを、職員一同大変うれしく思います。
- 保護者の皆さま方におかれましては、お子様のご卒業に対し心からお祝い申し上げます。
- 新型コロナウイルス感染症の感染拡大が、いまだ収束が見られない中、皆さま方におかれましては、感染症防止対策にご協力を賜り深く感謝申し上げます。
- さて、33期生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。これからは、自らの目標に向かって、新たな人生をスタートすることになります。
- 振り返ると、皆さんの高校生活の大半は、新型コロナウイルス感染症とともに歩んできました。この2年間をどのように受け止めているのでしょうか。
- マスクの着用、ソーシャルディスタンス、不要不急の外出禁止、オンライン学習など、制約された生活を強いられるとともに、新たな取組みが次々と打ち出され、目まぐるしさを感じた日々だったのでしょうか。
- 私たち教職員も次から次へと新たなことに対応し、チャレンジした日々でした。時折、いままでのようにいつ戻るのかと思うこともありました。しかし、時は常に進んでいます。これまでを惜しみ、求めるのではなく、これからのことを考えるべきだと気づいたのは、いつのことだったのでしょうか。以前には戻れない。戻れないから先を見る。先には、間違いなく明るい未来が見えています。
- この感染症によって、先を見て、新たな方法を模索し、取り組んだことは、私たち人類にとって大きな財産になったのではないかと、私は考えます。
- そして、卒業生の皆さんもこうした学校生活で、これまで当たり前で暮らしていたことが、とても幸せだったことや、自らの行動が社会に大きく関わることなど、たくさんのことを学び、大きく成長をとげたと思います。
- これから皆さんが旅立つ社会は、どちらかというと思い通りにいかないことの方が多いと思います。一般的に人生は、マラソンであったり、坂道であったり、山や谷など、苦難を乗り越える、乗り越えるものと比較して語られています。必ずしも楽しいことばかりではないと言われます。
- いわゆる人生は、困難と向き合いそれを克服することで、成長を遂げ、心豊かな人生を送ることができるようになるわけです。困難を避けていては成長することができず、心豊かな人生を送ることもできなくなります。

- 相模田名高校での3年間で、様々な困難と向き合い、その都度、様々な方法で努力を重ね、そこから楽しさや喜びを見つけ出し乗り越えてきました。
- この先も困難や苦難が続くと思いますが、それは、自らを成長させるためのものであり、その先には、必ず明るい未来が待っています。
- 繰り返しになりますが、困難に遭遇したらこれまで培ってきたように、努力を怠らず、苦しさの中でも楽しさや喜びを見つけ出し乗り越えていってください。先をみて、前に進めばいいのです。皆さんはその努力をする力が身につけています。
- もちろん、時には、今回の冬季オリンピックのフィギュアスケートの羽生結弦選手が語ったように「報われない努力」もあるかもしれません。
- しかし、「報われない努力」はあったとしても「無駄な努力」は一つもないと私は思っています。そして、その先には必ず明るい未来が待っています。
- 「無駄な努力」は一つもありません。このことを、卒業にあたり、皆さんへのはなむけの言葉とさせていただきます。
- 卒業おめでとうございます。